

3章

問題

【1】

A.

全訳

プレーステーションの人気は、これが与えてくれる安心感にある。多くの若者は、家庭崩壊または思春期の体の変化、つまり、彼らがコントロールできない状況のために、心の安定を欠いている。プレーステーションの世界によって若者達は、自分の運命を支配する力を持つ場所へ逃避することができる。道徳的水準が低下している今日、正義の味方が、今でも王女様を救い出すことができるということを知るのは、勇気づけられることだ。

B.

全訳

会話において、人はいとも簡単に相手についてのあることを知るだろう。これは、相手の話の内容からというよりも、むしろその話し方からわかるのである。というのも、我々が話す時はいつでも、自分の素性や、自分がどんな人間であるかということについての手掛かりを、聞き手に与えざるをえないからである。

C.

全訳

クイーン=エリザベス1世とクイーン=ビクトリアにはある種の共通点があった。2人とも愛国者であった。2人とも、人民の利益になると自分が信じていた事に対する深い献身によって鼓舞された。2人とも自分の職務に対して気高い考えを持っていた。2人はともに批判に対して憤慨したが、エリザベスの憤慨には、ビクトリアが決して持っていなかったユーモアが必ずかすかに含まれていた。ここで2人の共通点は終わる。

D.

全訳

彼女は20年ぶりに故郷へ帰った。子供の頃の思い出でいっぱいの校舎に目をじっと向けたまま、動かずに立っていた。級友と一緒に歌った歌を口ずさみ始めると、涙がほおをつたった。

【2】

ポイント

東大の総合問題のように、ほとんど客観テストに近い問題に対処する場合、まず英文を最後まで読んで、流れやシチュエーションを把握することが大切である。選択肢から正解を類推するテクニックもあるかもしれないが、東大の問題はそんなに甘くない。選択肢を見たためにかえって迷うことも多い。したがって選択肢を見る前に自分なりの解答を用意しておくことが肝要である。

解答

- (1) d (2) d (3) another
 (4) 「彼女の名前を聞かなかったら、電話でお祝いを言われただけで終わり、その後の付き合いはなかっただろうということ。」(54字)
 (5) ㉠ if ㉡ in (6) a (7) b (8) d

解説

- (1) 空所の前は、「お金を稼ぎたいなら小説は書かないことだ」と言われてジレンマに陥ったという流れ。空所を含む because 節では、そう言われることでジレンマに陥る理由が説明されるはずである。「小説を書かなければどうやってお金を稼いだらいいのかわからない」という意になる d が適切。
 (2) 「こういう電話 (= 自分の小説をほめてくれる電話) を受けるのを喜ばない作家はいない」とした後で although … と続けているので、空所部分は「喜ばなかった」というような内容になると予想できる。captivate ~ は「~をうっとりさせる〔魅惑する〕」なので、受動態では「うっとりする」という意味。これを否定すると、文脈に合うことになる。選択肢の中で否定的な意味を表すものは less than (= not at all) だけである。

Ex. We were busy and *less than* delighted to have company that day.

(その日は忙しくて、来客があるのは少しもうれしくなかった。)

- (3) a spelling mistake を見つけて電話してきた女の子が、「もし () を見つけたら、また電話する」と言ったのだから、この文脈を考慮すると、空所には「また別のスペリングミス」が入ると判断できる。空所に入るのは1語なので、代名詞 another を入れるのが適切。
 (4) 下線部を訳せば「もしこの女性が自分の名前をもらさなかったら、大西洋を越えた賛辞もさよならだけで終わっていたかもしれない」といった具合になる。ここまですら読んだだけでは状況がつかみにくいだろうが、最後まで読み通せばどうということなのかがわかる。普通こういう場合の電話は、「本当にすばらしい作品です…おめでとうございます…それでは失礼します」くらいの流れで終わってそれっきりなのだろうが、有名なプロデューサーの妻であることがわかった途端、「私」には彼女と何とか知り合いになって、夫を紹介してもらい、あわよくば映画化でもしてもらえないかという打算的な考えが浮かんだのだろう。drop ~ は「~をもらす; ~をそれとなく言う」(= utter ~ casually or incidentally) の意。

Ex. He *dropped* a hint. (彼はそれとなくヒントを与えた。)

- (5) given a month's notice は「1カ月の予告が与えられたとしても」が直訳だが、ここでは要するに「1カ月前から予約しようとしても」ということ。notice は「通告; 予告」の意味。in advance は before doing or getting something すなわち「あらかじめ」ということで、前に具体的な時間を置くと「~前に」の意で用いることができる。

Ex. The rent is due one month *in advance*. (家賃は1カ月前に支払って下さい。)

- (6) You must have lunch with me. は「ぜひ食事を付き合ってください。」の意。must が会話で使われた時、'丁寧な勧誘'を表すことがある。そして You must have lunch with

me. においては、招待するのは me の方で招待されるのは You の方である。「私」は名士の夫人からこのような誘いを受けて、「いえ、招待するのは私の方ですよ」と、相手に敬意を表して彼女のセリフを繰り返して言ったのである。

Ex. You *must* have this cake. (ぜひこのケーキを食べてちょうだい。)

(7) get away with は普通「罰を受けないで～をやったのける」の意味で用いられる。しかし本問の場合は、「英国人に対してほめ言葉を使ってもどのくらい効果があるか疑問だ」という意味である。つまり get away with は「(うまく；平気で) やったのける」くらいの意で、accomplish とだいたい同じになる。

(8) 下線部は she telephoned again almost exactly six months later とパラフレーズできる。she did (= she called me) といったん書いて、もう一度、6カ月も経過していたことを強調するために下線部以下を付け加えたのであろう。to the day は「1日も変わらず；きっかり」の意で、almost six months to the day を直訳的に訳せば「ほとんど1日も変わらずと言っていいくらいの6カ月後に」ということになる。

Ex. We left Spain one year ago *to the day* (= exactly one year ago).

注

- ℓ. 2 ◇ complimentary *adj.* 「賞賛〔敬意〕を表す」
- ℓ. 2 ◇ check *n.* 「小切手」ここでは royalty check (印税小切手) のことと考えられるので、「印税」と訳してある。
- ℓ. 5 ◇ chatter on 「ぺちやくちゃしゃべる」
- ℓ. 6 ◇ oblivious to ~ 「～を気にとめない」ここは副詞的に (was now facing me and) chattering on を修飾している。
 - ◇ heap A on B 「A (= 賞賛など) を B (= 人物) にたくさん与える」
 - ◇ lavish *adj.* 「豊富な」
- ℓ. 12 ◇ on the spur of the moment 「衝動的に；突然」
- ℓ. 13 ◇ mortal *n.* 「人；やつ」
- ℓ. 17 ◇ crackle *vi.* 「パチパチ音がする」
- ℓ. 19 ◇ gallantly *adv.* 「いんぎんに；丁寧に」

全訳

当時私は処女作を出版したばかりだったが、大西洋のどちらの側でも批評家たちは好意的だった。もっとも出版社からの印税の方はそれほど好意的なものではなかったが。もし金を稼ぎたいなら、小説は書かないことだと私の代理人が何度か忠告してくれたが、これは私をジレンマに追いこんだ。なぜなら私は小説を書く以外に金を稼ぐ方法を知らなかったからである。

ちょうどこの頃のことである。私が黙っているのも気にとめずに、今、目の前でしゃべり続けている女性は、ニューヨークから電話をかけてきて、私の小説をさんざんほめてくれたのだった。こういう電話を受けて喜ばない作家は1人もいないものだ。もっとも11歳の女の子からの電話には正直なところがつくりきたと言わざるを得ない。彼女はカリフォルニアからコレクトコールでかけてきて、47ページにスプリングミスを発見したけれど、また別のミスが見つかったら再度電話をかけてくると警告してくれた。しかし私の前にいるこの女

性も、彼女自身の名前をもらしていなかったら、大西洋の向こうからかけてくれたお祝いの電話もさよならで終わってそれっきりになっていたかもしれない。彼女の名前は、私のような人間の場合、1カ月前に予約しようとしたとしてもまず不可能と思えるような洒落たレストランのテーブルやオペラの席を、急に思いついて予約することがいつでもできるような有名な名人に属する名前だった。公平を期するために言うと、その名声を得ているのは、世界で最も有名な映画プロデューサーの1人である彼女の夫の名前だった。

「今度私がロンドンに行った時には、ぜひ昼食をご一緒して下さい」と彼女は雑音の入る電話で言った。

「いいえ、私の方こそぜひご招待させてください」と私は丁寧に行った。

「あなた方イギリス人はいつも本当にすばらしい方ばかりですわ」と彼女が言った。

アメリカ人女性がこんな表現をイギリス人男性に対して使った時、はたしてどのくらいの成果があるんだろうかとよく思う。しかしオスカーを受賞したプロデューサーの妻が毎日人に電話をするとは思えない。

「今度ロンドンに行ったら電話をさしあげることを約束します」と彼女は言った。

そして実際電話をくれたが、その電話があったのはほぼ6カ月経ってからだった。この時はコノートホテルから電話をかけてきて、お会いするのを大変楽しみにしていると言ってきた。

【3】

ポイント

長文総合問題では、東大に限らず会話を主体とした英文がしばしば出題される。会話文の特徴は、当然のことだが、口語的表現が多いこと、それに省略が多いことなどであろう。したがって、設問もそれにかからむものが多くなる。くだけた文体にも対応できるように慣れておきたい。

解答

- (1) **b** (2) **c** (3) If you heard (4) **b**
(5) **d** (6) dogs (7) answered (8) if
(9) **a** (10) 「全訳」の下線部⑩参照。

解説

- (1) 会話における相づちの打ち方にはいろいろある。相手の言葉をそのまま主語と助動詞で受ける **c** のような形。相手の陳述に対して自分の期待や恐れを込めて、否定や肯定を表す **a** や **d** のような形。また **b** のように単に自分の肯定・否定の考えを述べる場合もある。ここでは後に続く文に「めったに客の来ない店を持っている」とあるので、must be awfully rich を否定する言葉がくるはずだ。したがって、**a** か **b** ということになる。I hope not はそうでないことを‘期待’する言い方だからここではおかしい。したがって、正解は **b** となる。
- (2) 後半のやりとりを見れば、いかにも家に金をかけている様子がわかるので、「一銭残らず家につき込んでいる」と言ったのだと見当がつく。
- (3) 仮定法の条件は、if で始まる節の形をとらずに、文中のどこかに隠されていたり、あ

るいは自明のこととしてまったく省略されていることが多い。中でも、主語に仮定の意味が含まれている場合が最も多いが、その他、時や場所を表す副詞（句）が if 節の働きをしている場合もよくある。

Ex. A true friend would have acted differently.

（本当の友達なら、そのようには振舞わなかっただろう。）

I could easily do that in the States.

（合衆国でなら、それをたやすくできるだろうに。）

本文の場合は、下線部分の不定詞句が仮定条件を表している。if 節で書き換えればよいわけだが、その際、仮定法が‘仮定法過去’であるか‘仮定法過去完了’であるかは、帰結節の動詞の形と文脈によって見分ける必要がある。ここでは帰結節が *you'd think* となっているので、‘仮定法過去’であることがわかる。したがって、書き換えると *If you heard ...* となる。

- (4) 選択肢はそれぞれ、**a**「同情」、**b**「勇気」、**c**「関心」、**d**「情熱」という意味。下線部を含む部分は、前文を受けて *I haven't the heart (to tell her I am too busy to see her)* という省略がある。*have the heart to ...* は「…する勇気がある」という意味で使われる。よって、正解は **b**。*have one's heart in ~* という場合の *heart* は「熱意」や「関心」という意味になる。また「(人) 情がある」などと言う時は無冠詞で *have (plenty of) heart* と表す。
- (5) *there is no ...ing* は「…することはとてもできない」の意。*get through* は「(何かが) 通過する」とか「(目的地に) 達する」という意味を表し、*get through to ~* は「~に理解してもらう」や「(電話などで) ~と連絡がつく」という意味になる。ここは *Grace* が家具や壁紙のことで頭がいっぱいで、私 (*Anne*) が迷惑していることなどとてもわかってもらえないと言っているのである。
- (6) 政治の話すればホワイトハウスの改築の話になるのだから、犬小屋の話になるのは「犬」が話題に出た時。*Grace* は、とにかく家のことに興味を持っているのである。
- (7) 「(かかってきた) 電話に出る」は *answer the telephone* と言う。ここでは過去形で表すことになるので、*answered* が正解。ちなみに「受話器を取り上げる」は *pick up the receiver* のように表す。
- (8) *I wonder if ...* は「…かどうかと思う」の意味だが、会話で人の意向を丁寧に尋ねる場合によく使われる表現である。正解は *if*。空所を含む文は「その時アンと2人でお寄りいただいてちょっと飲みませんか?」といった意味になる。
- (9) 初期の頃、電話は壁掛け式であったことから「電話を切る；受話器を置く」は *hang up* という言い方をする。よって、正解は **a**。*hang on* は「(電話を切らずに) そのまま待つ」という意味。*hang up* としっかり区別しておくこと。
- (10) *There is more to ~ than ...* を直訳すれば「~には…以上のものがある」となる。よって下線部は「人生には装飾以上のものがある。」となるが、これを文脈に応じて日本語らしい表現にまとめること。「飾りたてるばかりが人生ではない。」「人生、飾りたてるばかりが能じゃない。」といった訳になるだろう。

注

- ℓ. 2 ◇ stagger *vi.* 「よろよろ歩く」
 ℓ. 3 ◇ pore over ~ 「～をじっくり見る〔熟読する〕」
 ℓ. 11 ◇ eyelash *n.* 「まつ毛」
 ◇ drapery *n.* 「厚手のカーテン」
 ℓ. 12 ◇ lousy *adj.* 「たった～；～ぼっち」強意語としての用法。
 ℓ. 27 ◇ haul ~ *vt.* 「～を運ぶ；～を引っ張る」
 ◇ dump *n.* 「ごみ捨て場」
 ℓ. 29 ◇ divine *adj.* 「すてきな」

全訳

グレース・マクレランは起きている時間の大部分を我が家で過ごしていた。ほとんど毎朝私が仕事に出かけようとする頃、山ほど家の雑誌を抱えてよろけるようにしてやって来ては、アンと一緒にその雑誌をじっくり読んで、問題の多い我が家にぴったりの解決策を見つけ出そうとしきりに言うのである。

「あのうちは恐ろしく金持ちなんだわ。」ある晩、食事の時アンが言った。

「そうでもないと思うがね。ジョージは小さな革製品の店をやっているが客なんかめったに見ることがないよ。」私は言った。

「そう、じゃあお金を全部家につぎ込んでるんだわ。」

「それはあり得るね。でもまた何であのうかが金持ちだなんて思ったんだい？」

「あの人の話を聞いているとお金なんて何でもないように思うわよ。まばたきもせずに1ヤード当たり10ドルの、天井から床まで届くカーテンの話をしたり、台所の修理なんてたったの1,500ドルもかからないわよって言ったりするんだから。」

「彼女を来させないようにする方法が何かあるだろう、アン？ 彼女の相手で君は疲れ果てているんだから。忙しいから会えないって言ってやれないのかい？」

「私にはそんな勇氣ないわ。あの人とっても優しく、親切で、寂しい人なのよ。」どうしようもないといったふうにアンが言った。「それに彼女にわかってもらうことなんかできないわ。私の言うことなんか聞いてないんだから。頭の中は見取り図や、布地や、家具や、壁紙やペンキのことでいっぱいなんだから。」

「話題を変えたらどうだ。」

「ミシシッピー川の流を変えろって言うのと同じよ。政治の話をするれば、ホワイトハウスの改修の話になるし、犬の話をするれば、犬小屋の話になるわ。」

電話が鳴ったので出てみると、グレース・マクレランだった。「やあ、グレース。」

「あなた事務用家具の会社にお勤めでしたね。」

「そうです。」

「下取りで古い書類棚なんか引き取ることないかしら？」

「あります。いやなんだけど時々仕方なく引き取るんです。」

「私に1ついただけないかしら？」

一瞬考えた。ごみ捨て場に捨てようとしていた古い木製のがらくたが1つあった。そのことを彼女に告げた。

「あらすてき。先月号の『ベター・ハウス』に古い書類棚の扱い方についての記事があるんです。ただ壁紙を貼って、その壁紙の上に一面に透明のニスを塗るだけですてきになるんですって。おわかりでしょう？」

「ええ。わかりました。明晩持って行きますよ。」

「ご親切にありがとう。その時アンと2人でお寄りいただいてちょっと飲みませんか？」

私は招待を受けることにして受話器を置いた。「とうとうその時が来た。」私は言った。「マリー・アントワネットがついに我々を招いて、ヴェルサイユ宮殿を見せてくれるというわけだ。」

「なんだか心配だわ。私たちの家がとてもみすばらしく見えるようになるんじゃないかしら。」アンが言った。

「◎人生、飾りたてるばかりが能じゃないよ。」

「わかってるわ。あなたに昼間に家にいてもらって、あの人がここにいる間そう言い続けてくれるといいんだけど。」

【4】

解答

- I. It is not true that only humans have the ability to make and use tools.
 - Up until the 1960s this was thought to be one of the things that separated/distinguished humans from animals.

- II. Chimpanzees in captivity have been taught to use tools in fairly complex ways.
 - They can lock and unlock doors with keys.
 - They can use coin-operated machines to get food or drinks.
 - They can use paintbrushes to create abstract paintings.
 - They can use computer keyboards.

- III. Chimpanzees naturally make use of tools.
 - This was not recognized until recently partly because of the belief that there must be clear distinctions between humans and apes.
 - Until recent times chimpanzees were not closely observed in their natural environment.
 - Four ways that chimps use tools in daily living have been observed.

- IV. Chimpanzees use sticks and stones as tools.
 - Chimpanzees use sticks of wood as clubs or as missiles to throw at attackers.
 - They also collect stones to use as nutcrackers.
 - The stones and nuts were not found in the same location.

- V. Chimpanzees chew up leaves and make sponges to collect water.
 - They dip them into pools of water gathered in the forks of branches of trees and suck

out the water.

VI. Their most complex use of tools is their shaping of sticks to probe into ants' nests.

- Chimpanzees look for animal food to improve their diet.
- Chimpanzees break small holes in the ants' nests with their fingers.
- They make small branches into probing tools.

VII. It is not a casual process.

- Chimpanzees carefully probe the nest with this tool and pull it out covered with angry ants, which they lick off the stick.
- Chimpanzees travel up to 800 meters to find materials to make the tools.
- Once a probe has been made it is carried from place to place for more hunting.

VIII. The most significant aspect of this behavior among chimpanzees is that they are making as well as using tools.

Script |

CD 2

As recently as the early 1960s, it was commonly held that one of the things that separated humans from animals was the human ability to make and use tools. This distinction, however, has proven to be false.

Chimpanzees in captivity have been taught to use tools in fairly complex ways. They
5 can lock and unlock doors with keys. They can use coin-operated machines to get food or drinks. They can use paintbrushes to create abstract paintings. Some were even trained to manipulate symbols on computer keyboards.

Even without human training, however, chimpanzees make use of tools. The fact that this was not recognized until recently was partly due to the belief that there must be clear
10 distinctions between humans and apes. Also, until relatively recent times it was considered too difficult to observe chimpanzees closely in their natural environment. But since the 60s a new type of fieldwork has been established and four ways in which chimps employ tools in daily living have been observed.

Chimpanzees use sticks of wood as clubs or as missiles to throw at attackers. They

15 have also been observed to collect stones to use as nutcrackers. The chimpanzees' use of such tools was not merely casual. The stones and nuts were not found in the same location. The chimps collected each separately and brought them together at a suitable spot where the nuts could be systematically cracked and eaten.

Another way that chimpanzees use tools is by chewing up a handful of leaves and 20 making a sponge to collect water. They dip them into pools of water gathered in the forks of branches of certain kinds of trees and suck out the water.

Most impressive in terms of the chimpanzees' complex use of tools is their shaping of sticks to probe into the nests of ants to collect food. Like many other animals usually considered plant-eaters, chimpanzees also look for animal food, which improves their diet. 25 One source of such food is live ants. Chimpanzees search for ant nests and break small holes in the hard outer covering with their fingers. In order to extract the ants they make small branches into probing tools, tearing off the leaves and breaking them into the correct shape for the job.

Chimpanzees carefully probe the nest with this tool and pull it out covered with angry 30 ants, which they lick off the stick. As with the use of stones to crack nuts, it is not a casual process. Chimpanzees have been observed to travel up to 800 meters to find suitable materials to make the tools when there were none available near the ant nests. Once a probe has been made it is carried from place to place for more ant hunting. If a favorite probe tool has been broken, the owner will attempt to repair it before discarding it and 35 making a new one.

The most significant aspect of this behavior among chimpanzees is that they are making as well as using tools. Previously it was believed that humankind were distinguished from other animals by their ability to make tools. Close observation of another species has shown that this is not true.

[525 words]

1960年代初期という最近まで、人間と動物を区別するもののひとつは道具を作り、使うという人間の能力であると広く考えられていた。しかし、この識別法は誤っていることが証明されている。

飼育チンパンジーは、極めて複雑な方法で道具を使うことを教えられている。彼らは、ドアに鍵をかけたり、外したりできる。食べ物や飲み物を得るためにコイン式の機械を使える。絵筆を使って抽象画を制作することもできる。なかにはコンピューターのキーボードで記号を扱うことまで訓練されたチンパンジーもいた。

しかし、人間による訓練がなくとも、チンパンジーは道具を活用している。このことが最近まで認識されていなかったという事実の一因は、人間とサルの間には明確な相違があるはずであるという思い込みにあった。また、比較的最近まで、自然環境のなかでチンパンジーを詳しく観察するのはあまりにも困難であると考えられていた。しかし60年代以降、新しいタイプのフィールドワークが確立され、チンパンジーが日常生活において道具を使う4つの方法が観察された。

チンパンジーは、木の枝をこん棒あるいは攻撃者に投げつける飛び道具として使う。木の实割りとして使う石を集めることも観察されている。チンパンジーのこうした道具の利用は、単なる偶然ではなかった。石と木の実は、同じ場所にあったのではない。チンパンジーは、それぞれを別個に集め、木の実を首尾よく割って食べられるような、適切な場所に持ってきて一緒にしたのである。

チンパンジーが道具を使うまた別の方法は、一つかみの葉を噛んで、水を集めるスポンジを作るということである。彼らは、ある種の木の枝分かれの部分に出来た水たまりにそれらを浸して、水を吸い出す。

チンパンジーの複雑な道具の使い方の中でも非常に感心させられるのは、食べ物を集めるためのアリの巣を突く棒の形状の作り方である。通常は草食と考えられている他の多くの動物と同じように、チンパンジーも食餌を改善するために動物性の食べ物を捜し求めることがある。そのような食べ物のひとつの供給源が、生きているアリである。チンパンジーは、アリの巣を捜し、硬い外側に小さな穴を開け、それらを指でふさぐ。アリを引き出すために、小枝の葉を取り去り、折って作業に合う形にして、巣を探る道具にする。

チンパンジーはこの道具で注意深く巣を探り、怒ったアリに被われたその道具を引き出すと、枝をなめてアリをとる。木の実を割る石を使う場合と同様、これも偶然のプロセスではない。アリの巣の近くに使えるものがない場合、チンパンジーは、この道具を作る適切な材料を見つけるために最大800メートルも移動することが観察されている。一度探り道具が作られると、その後のアリ狩りのため、それはあちこちに持って行かれる。お気に入りの探り道具が壊れると、捨てて新しいものを作る前に持ち主はそれを修繕しようとする。

チンパンジーにおけるこのような行動のうちで最も重要な側面は、彼らが道具を使うだけでなく作っているということである。以前は、人間が他の動物とはっきりと区別されるのはその道具を作る能力によってであると信じられていた。別の種の動物を精緻に観察することで、これは事実ではないことが示された。

【5】

A.

解答・解説

- (1) c 「アメリカにいても日本人同士で群れたがる傾向があるそうです。」
○ be apt to *do* 「…しがちである」
- (2) c 「ベンジャミンは聡明な少年だったので、弁護士になって障害を持つ子供を助けることに自分の人生を捧げようと決心していた。」
○ be determined to *do* 「…しようと決意している」
- (3) a 「古い家によい値がつかなかったため彼は引っ越す気にならなかった。」
英作文において *reluctant* の綴りには注意。

B.

解答・解説

- (1) 君とこうして話しているのは内緒のことですから。
直訳は「私は、君に話していることにはなっていない。」である。
- (2) 恥をかく事を恐れるな。(怖くて恥をかけないというようではだめです。)
テキスト記載の「be + 形容詞 + to *do*」の表現はどれもよく使われるものなので、ここでしっかり覚えておくこと。

【6】

A.

解答・解説

- (1) d 「テイラー氏は車への損害を大まかに見積もって、保険会社にそれを報告した。」
estimate は *made* の目的語となる名詞であるから、副詞である a *clearly*, b *soon* では修飾できない。c *remark* は名詞であるから、やはり *estimate* を修飾しない。形容詞は d *rough* のみである。
- (2) c 「工業化は間違いなく非常に大量の汚染をもたらした。」
○ a great [good] deal of ~ 「大量の~ (不可算名詞)」
○ a great number of ~ 「とても多くの~ (可算名詞)」
○ a lot of ~ 「多くの〔大量の〕~ (可算名詞・不可算名詞)」
- (3) a 「彼女の顔のシワは、シワというよりむしろ折り目のよう(に深いシワ)だった。」
wrinkles という複数形の可算名詞があるからと言って *many* とか *few* を選んではいけない。The *lines* と *creases* を比較した英文ではない。not so much A as B (AというよりむしろB) と読むべきである。
- (4) c 「人気のあるブログのほとんどは、広告からある程度の収入を得ているという意味において、商業的である。」
Most popular blogs なら可。Most of と of がつくとその後の名詞は限定されたものになる。Almost は「ほとんど」という意味の副詞のため、直接 *the* を修飾したり of を伴う形で用いたりすることはできない。
○ in the sense that S V 「SがVするという意味で」

that は同格の接続詞。

(5) d 「今年、このイベントの参加者数はこれまでで最多になるだろう。」

多寡を many, much, few, little を用いずに large, small で表す名詞がある (audience, population, number, amount, income, salary など)。

類題 誤文を訂正せよ。

There were many audiences. (観客は多かった。)

解答 There was a large audience.

ever は最上級を強調するためにしばしば用いられる。

e.g. the best film ever (史上最高の映画)

B.

解答・解説

(1) able → possible [imaginable etc.]

「ジェイはなくした本を見つけるためにあらゆる可能な手段を取ろうとしたが、無駄に終わった。」

every, all, 最上級などがついた名詞を -able, -ible の形容詞で修飾する際には1語でも後ろに置く (後位修飾)。

Ex. Do everything possible. (可能なすべてのことを行いなさい。)

(2) sensitive → sensible

「過剰な体内脂肪を減らすための分別ある解答は、食習慣と運動習慣に少しの健康的な変化を加えることです。」

○ sensitive 「敏感な」, sensible 「分別ある」, sensual 「官能的な」, sensory 「感覚の」, sensational 「扇情的な」

(3) respective → respectful

「彼は、特に妻や子供たちだが、人は自分に敬意を表すべきだと信じていて、人が自分を失礼に扱った時には大変怒ります。」

respective (それぞれの) では意味が通じない。respectful (敬意を表した) にすべきである。 cf. respectable (立派な; 品の良い)

(4) economic → economical

「ディーゼル車は、本来より効率的な燃焼方式のため、ガソリン車と比べて概して20パーセント経済的です。」

economic は原則として「経済上の」という意味で、「割安な; 経済的な」という economical とは区別される。

※ 現在では economic を economical の代わりに使うこともあるが、原則的な相違を覚えておいてほしい。

○ equivalent 「同等品; 相当物」

(5) considerable → considerate

「おしゃべりやタバコを控え、携帯電話のスイッチを切って、他人への配慮をお願いします。(ご協力) ありがとうございます。ショーを楽しんでください。」

○ considerable 「かなりの; 想像しうる」, considerate 「思いやりのある」

(6) it → one

「カッパとは日本の空想上の水棲動物です。だから日本を旅行中に川を覗いてみればカッパを見るかもしれません。」

'it = the + 名詞' と 'one = a + 名詞' を区別しておくこと。この英文ではいまだ1匹のカッパに特定しているわけではないので one が正しい。なお, imaginary (架空の) は文意に適しているため, imaginable や imaginative に訂正する必要はない。

cf. imaginable (想像しうる), imaginative (想像力豊かな)

【7】

解答・解説

(1) The trouble is that those who one might expect would have the greatest interest in this phenomenon show no interest in it at all.

連鎖関係詞節の形になり, who (one might expect) would have ~と考えるとよい。

(2) After trying on the cheap shoes which he complained weren't comfortable, he purchased the much more expensive ones.

(1)と同様に, 連鎖関係詞節になっている。

(3) Ethan lost his faith, and became increasingly critical of what he came to think was unverified.

関係詞 what 節の中に he came to think が挿入された形と考えて良い。